



Lé thio roots

レ・ティオ・ヌーツ

ロマン・ヴェルジェは、アンジェの南、コトー・ド・レイヨンの農家に生まれ、造園・樹木の栽培・家の建設など10年間ほど、幅広く様々な職業に触れてきました。依頼される仕事の中にはブドウ畑やセラーでの作業も含まれ、次第にブドウ栽培とワイン醸造を専業で行いたいと思うようになり、2018年ブドウ畑を購入しました。畑は3haでビオロジック栽培（認証なし）、醸造はポンとバリックと小ぶりの垂直プレスがあるのみで、多くの作業が手作業で行われています。初ヴィンテッジの2018年から、亜硫酸無添加で醸造し今後も継続の方針です。出会いは、2020年の2月、ロワールで開かれた若い造り手の試飲会でした。会場の中でも、彼の人柄と彼の造るシュナン・ブランにひととき魅力的でした。シュナン・ブランらしい凝縮感と、それを支える高い酸、ピュアな果実味とからして、果実が良い状態であることが伝わります。設備の充実などに伴い、醸造や熟成の精度の向上に期待しつつ、これからの躍進に注目です。

	○VdF - Hénade エナード			備考	古ギリシャ語の哲学用語に由来する、エナードとは、自分自身の経験を構築するものとなる特別な体験のことです。縁あって、ある農家からの買いブドウで造り始めました。
	畑	品種：シュナン・ブラン100% 植樹：2008年 位置：南西向き、標高 75m 土壌：シスト、粘土質	醸造		
	○VdF - Carré d'astres カレ・ダストル			備考	エチケットには、造り手のロマン・ヴェルジェの興味を持つ、ピオディナミヤ密教の秘密と深く関わりのある、天体（アストル）のシンボルがあしらわれたデザイン。
	畑	品種：シュナン・ブラン100% 植樹：1995年 位置：南向き、標高87m 土壌：シスト、粘土質	醸造		